

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2018 徹底解説 エンベデッドスペシャリスト 本試験問題

No	訂正箇所	誤	正																																																																																																																																
	H29-134 下から 4行目 ～ H29-135 上から 4行目	<p>1回の割込みで、送信データ及び受信データそれぞれのデータ用のFIFO（シフトレジスタ）に、CPUからアクセスするが、この間の時間は、図6に10マイクロ秒と示されている。管理CPUと各構成要素間で通信を行っている時間は、CPUの処理を停止させる必要がないので、5回の割込みの間、すなわち4回×10マイクロ秒、CPUが停止する。</p> <p>よって、メインプログラムが動作できない時間は、次のように計算できる。</p> <p>(タイマ割込み1の処理時間+（伝送受信割込みと伝送送信割込み5回）+FIFOとのアクセス時間）=4+20+40=64</p>	<p>更に、設問ではタイマ割込み2については何も触られていないが、1ミリ秒の時間にタイマ割込み2が発生する可能性があり、タイマ割込み2の実行ステップは20kとあるので、40マイクロ秒メインプログラムが実行できない。</p> <p>よって、メインプログラムが動作できない時間は、次のように計算できる。</p> <p>(タイマ割込み1の処理時間+（伝送受信割込みと伝送送信割込み5回）+タイマ割込み2の処理時間)=4+20+40=64</p>																																																																																																																																
1	出-7	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>7</td><td>JavaEEの構成要素</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>8</td><td>ハッシュ表探索時間の特徴</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>9</td><td>プログラムを分析するための情報収集ツール</td><td>ア</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>10</td><td>SELinuxの説明</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>PLLの出力周波数</td><td>イ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>D/Aコンバータの出力電圧の求め方</td><td>ア</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>13</td><td>ロータリエンコーダの角度分解能</td><td>ウ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>14</td><td>耐タンパ性の説明</td><td>イ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> </table>	7	JavaEEの構成要素	エ	T	2	5	4	3	8	ハッシュ表探索時間の特徴	エ	T	2	5	3	2	9	プログラムを分析するための情報収集ツール	ア	T	2	5	4	3	10	SELinuxの説明	エ	T	2	5	5	4	11	PLLの出力周波数	イ	T	2	6	1	4	12	D/Aコンバータの出力電圧の求め方	ア	T	2	6	1	4	13	ロータリエンコーダの角度分解能	ウ	T	2	6	1	3	14	耐タンパ性の説明	イ	T	2	6	1	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>7</td><td>JavaEEの構成要素</td><td>ウ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>8</td><td>ハッシュ表探索時間の特徴</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>9</td><td>プログラムを分析するための情報収集ツール</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>10</td><td>SELinuxの説明</td><td>ア</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>11</td><td>PLLの出力周波数</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>D/Aコンバータの出力電圧の求め方</td><td>イ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>13</td><td>ロータリエンコーダの角度分解能</td><td>ア</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>14</td><td>耐タンパ性の説明</td><td>ウ</td><td>T</td><td>2</td><td>6</td><td>1</td><td>4</td></tr> </table>	7	JavaEEの構成要素	ウ	T	2	5	4	3	8	ハッシュ表探索時間の特徴	エ	T	2	5	3	2	9	プログラムを分析するための情報収集ツール	エ	T	2	5	4	3	10	SELinuxの説明	ア	T	2	5	5	4	11	PLLの出力周波数	エ	T	2	6	1	4	12	D/Aコンバータの出力電圧の求め方	イ	T	2	6	1	4	13	ロータリエンコーダの角度分解能	ア	T	2	6	1	3	14	耐タンパ性の説明	ウ	T	2	6	1	4
7	JavaEEの構成要素	エ	T	2	5	4	3																																																																																																																												
8	ハッシュ表探索時間の特徴	エ	T	2	5	3	2																																																																																																																												
9	プログラムを分析するための情報収集ツール	ア	T	2	5	4	3																																																																																																																												
10	SELinuxの説明	エ	T	2	5	5	4																																																																																																																												
11	PLLの出力周波数	イ	T	2	6	1	4																																																																																																																												
12	D/Aコンバータの出力電圧の求め方	ア	T	2	6	1	4																																																																																																																												
13	ロータリエンコーダの角度分解能	ウ	T	2	6	1	3																																																																																																																												
14	耐タンパ性の説明	イ	T	2	6	1	4																																																																																																																												
7	JavaEEの構成要素	ウ	T	2	5	4	3																																																																																																																												
8	ハッシュ表探索時間の特徴	エ	T	2	5	3	2																																																																																																																												
9	プログラムを分析するための情報収集ツール	エ	T	2	5	4	3																																																																																																																												
10	SELinuxの説明	ア	T	2	5	5	4																																																																																																																												
11	PLLの出力周波数	エ	T	2	6	1	4																																																																																																																												
12	D/Aコンバータの出力電圧の求め方	イ	T	2	6	1	4																																																																																																																												
13	ロータリエンコーダの角度分解能	ア	T	2	6	1	3																																																																																																																												
14	耐タンパ性の説明	ウ	T	2	6	1	4																																																																																																																												
2	出-11	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>H29</td><td>7</td><td>JavaEEの構成要素</td><td>エ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table>	H29	7	JavaEEの構成要素	エ	T	2	5	4	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>H29</td><td>7</td><td>JavaEEの構成要素</td><td>ウ</td><td>T</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table>	H29	7	JavaEEの構成要素	ウ	T	2	5	4	3																																																																																																														
H29	7	JavaEEの構成要素	エ	T	2	5	4	3																																																																																																																											
H29	7	JavaEEの構成要素	ウ	T	2	5	4	3																																																																																																																											

3	出-12	H29 9 プログラムを分析するための情報収集ツール ア T 2 5 4 3	H29 9 プログラムを分析するための情報収集ツール エ T 2 5 4 3
		H29 10 SELinux の説明 エ T 2 5 5 4	H29 10 SELinux の説明 ア T 2 5 5 4
		⋮	⋮
		H29 11 PLL の出力周波数 イ T 2 6 1 4	H29 11 PLL の出力周波数 エ T 2 6 1 4
		H29 12 D/A コンバータの出力電圧の求め方 ア T 2 6 1 4	H29 12 D/A コンバータの出力電圧の求め方 イ T 2 6 1 4
		H29 13 ロータリエンコーダの角度分解能 ウ T 2 6 1 3	H29 13 ロータリエンコーダの角度分解能 ア T 2 6 1 3
		H29 14 耐タンパ性の説明 イ T 2 6 1 4	H29 14 耐タンパ性の説明 ウ T 2 6 1 4
4	H29-138	<p>【解答例】 [設問 1] (2) (b) g : 電磁ロック制御指示 h : 自転車検知通知</p>	<p>【解答例】 [設問 1] (2) (b) g : 電磁ロック制御指示 h : 自転車検出通知</p>
5	H29-141	<p>・空欄 h : ラックから精算機へのメッセージであるから、表 5 のうち、自転車 ID 応答か自転車検知通知のどちらかである。</p> <p>表 4 のレンタル自転車の貸出しの動作概要⑤に、「利用者がレンタル自転車を取り出すと、表示灯が青点滅になり、レンタル自転車の貸出情報が管理サーバに送信される」とあり、表示灯を青点滅にするのは、空欄 h の下の表示灯制御指示が対応しており、レンタル自転車を取り出す動作に対応するのは、空欄 h であると推測できる。したがって、空欄 h は「自転車検知通知」である。</p>	<p>・空欄 h : ラックから精算機へのメッセージであるから、表 5 のうち、自転車 ID 応答か自転車検出通知のどちらかである。</p> <p>表 4 のレンタル自転車の貸出しの動作概要⑤に、「利用者がレンタル自転車を取り出すと、表示灯が青点滅になり、レンタル自転車の貸出情報が管理サーバに送信される」とあり、表示灯を青点滅にするのは、空欄 h の下の表示灯制御指示が対応しており、レンタル自転車を取り出す動作に対応するのは、空欄 h であると推測できる。したがって、空欄 h は「自転車検出通知」である。</p>